



決 算 報 告 書

(第 2 期)

自 平成 18 年 4 月 1 日
至 平成 19 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 アラヌエボ

長野県北安曇郡白馬村北城 2 8 4 3 - 1 1

平成18年度事業報告書

特定非営利活動法人アラヌエボ

1 事業実施の方針

アラヌエボ設立初年度である当年度は、就学前児童及び、主に社会体育に属する、シニアに対してのサッカー教室、サッカー指導者の派遣等、また、地域青少年に対して、サッカークリニック等を運営することで、サッカーを通じた広域地域スポーツの活性化と、青少年の健全育成を目的として活動の基盤を築く。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象範囲及び人数	支出
キッズキャラバン	地域の保育園へ出向き、サッカーにふれあう場を提供し、サッカーを通じてスポーツの魅力を伝える。	白馬村保育園 中部 6/9 10/3 美麻村 9/28	各保育園の園庭、体育館、グラウンド)	6名	一般地域園児 131名	0
サッカースクールの運営	地域に根ざしたクラブ作りをコンセプトに、幼児期に必要な運動を盛り込み、誰もが楽しめるキッズスクールの運営を行う。	通年 (5月～12月) 週1回	村内グラウンド・体育館	63名	白馬村・小谷村 園児 423名	131
サッカー大会の開催	県内外の小学生チームが参加し、8人制サッカー大会アラフェスタを開催する。	8/27・28	村内サッカーグラウンド	33名	大会参加者 333名	216
国際交流事業	ドイツ、オーバービーゼンタルへの派遣、ワールドカップ観戦。ルンメニゲサッカーキャンプへの参加	6/6-6/20 8/8-8/21	ドイツ	1名 2名	2名 4名	0
サッカー指導者派遣事業	スポーツ少年団アラグラウンデFCジュニア・ジュニアユースの指導派遣	通年 ジュニア週2回・ジュニアユース週5回	村内施設	200名	4000名	2,640
シニア・レディース教室	生涯スポーツとして、サッカーを通じ地域とのコミュニケーションを図る。 NPO シニア大会の開催	週2回及び 大会 9/2 大会 10/28 交流試合	地域施設	25名	300名	0
グラウンド事業	グラウンドに係る運営及び整備事業	4月～3月	村内	50名		342

(2) その他の事業 なし

平成18年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成19年3月31日現在

科目・摘要	金額 (単位：円)		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	51,500		
普通預金 八十二銀行白馬支店	236,850		
J A大北 白馬支所	1,153,469		
未収金			
流動資産合計		1,441,819	
2. 固定資産			
構築物			
グラウンド整地工事	2,879,281		
ナイター照明移設工事	547,023		
北側ネット工事	615,601		
固定資産合計		4,041,905	
資産合計			5,483,724
II. 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金			
未払い金			
グラウンド整備 トイレ・ゴール他	1,433,000		
預かり金 預かり源泉税 (1月～3月分)	33,000		
流動負債合計		1,466,000	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,466,000
正味財産			4,017,724

平成18年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成19年3月31日現在

特定非営利活動法人アラヌエボ

科 目・摘 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金許有高	51,500	
普 通 預 金	1,390,319	
未 収 金	0	
流動資産合計		1,441,819
2 固定資産		
構 築 物	4,041,905	
固定資産合計		4,041,905
資産合計		5,483,724
II 負債の部		
1 流動負債		
短 期 借 入 金	0	
未 払 金	1,433,000	
預 り 金	33,000	
流動負債合計		1,466,000
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,466,000
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		3,687,354
当期正味財産増加額(減少額)		330,370
正味財産合計		4,017,724
負債及び正味財産合計		5,483,724

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については定額法を採用している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金・未収金・未払い金・預かり金・短期借入金を含めている。なお、当期首及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである

科目	当期首残高	当期末残高
現金預金	0	1,441,819
未収金	0	0
合計(イ)	0	1,441,819
短期借入金	0	0
未払金	0	1,433,000
預り金	0	33,000
合計(ロ)	0	1,466,000
次期繰越収支差額(イ) - (ロ)	0	▲ 24,181

3. 固定資産の取得額減価償却累計及び当期末残高は次のとおりである

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物	4,372,056	330,151	4,041,905
合計	4,372,056	330,151	4,041,905

平成18年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成19年3月31日現在

科目・摘要	金額 (単位：円)		
(資金収支の部)			
I. 経常収入の部			
1. 会費・入会金収入			
入会金収入	38,000		
正会員会費収入	144,000		
賛助会員会費収入	40,000		
Club A I a年会費収入	5,000		
利息・雑収入	23,120	250,120	
2. 事業収入			
キッズキャラバン事業収入	0		
キッズスクール事業収入	211,500		
サッカー大会事業収入	242,000		
指導者派遣事業収入	2,640,000		
グラウンド事業収入	0		
講習会開催事業収入	0		
シニア&レディース教室事業	0	3,093,500	
3. 寄付金・助成金収入			
寄付金収入	662,000		
助成金収入	0	662,000	
経常収入合計 (A)			4,005,620
II. 経常支出の部			
1. 事業費			
キッズキャラバン事業費			
給料手当	0	0	
キッズスクール事業費			
給料手当 (常勤スタッフ)	122,000		
雑給 (アルバイトスタッフ)	0		
事務用品費	0		
雑費	9,866	131,866	
サッカー大会事業費			
雑給	12,000		
福利厚生費	45,426		
通信費	2,760		
接待交際費	20,000		
消耗品費	131,349		
雑費	5,080	216,615	
指導者派遣事業費			
給料賃金	2,640,000	2,640,000	
グラウンド事業費			
雑給	10,000		
地代	300,000		
福利厚生費	7,290		
旅費交通費	15,000		
修繕費	1,008		
水道小熱費	8,937		
燃料費			
消耗品費			
租税公課			

平成18年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成19年3月31日現在

科目・摘要	金額 (単位: 円)	
支払い手数料	367	
工事費		
雑費		342,602
講習会開催事業費	0	0
シニア & レディース教室事業費	0	0
2. 管理費		
雑給	20,000	
福利厚生費		
旅費交通費		
通信費	3,150	
交際費		
保険料		
消耗品費		
租税公課	1,000	
荷造運賃	1,360	
事務用品費	5,000	
広告宣伝費	6,800	
支払い手数料	2,100	
雑費		39,410
経常支出合計 (B)		3,370,493
経常収支差額 (C) = (A) - (B)		635,127
III. その他資金収入の部		
1. 借入金収入		
短期借入金		0
その他資金収入合計 (D)		0
IV. その他資金支出の部		
1. 固定資産取得支出		
構造物	0	0
その他資金支出合計 (E)		0
当期収支差額 (F) = (C) + (D) - (E)		635,127
前期繰越収支差額 (G)		▲ 659,308
次期繰越収支差額 (H) = (F) + (G)		▲ 24,181
(正味財産増減の部)		
V. 正味財産増加の部		
1. 資産増加額		
構築物購入額	0	0
増加額合計 (I)		0
VI. 正味財産減少の部		
1. 資産減少額		
構築物減価償却額	304,757	
当期収支差額 (F) 再掲	▲ 635,127	▲ 330,370
減少額合計 (J)		▲ 330,370
当期正味財産増加額 (K) = (I) - (J)		330,370
前期繰越正味財産額 (L)		3,687,354
当期正味財産合計 (K) + (L)		4,017,724

平成18年度 その他の事業 貸借対照表

平成19年3月31日現在

特定非営利活動法人アラヌエボ

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金許有高	0		
普通預金	0		
	0		
2 固定資産			

18年度アラヌエボ その他の事業 収支計算書

平成19年3月31日現在

特定非営利活動法人アラヌエボ

科目	金額：円	備考
I 収入の部		
1 売り上げ	0	
当期収入合計 (A)	0	
前期繰越収支差額	0	
収入合計 (B)	0	
II 支出の部		
1 仕入れ	0	
当期支出合計 (C)	0	
当期収支差額 (A) - (C)	0	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	

以上のとおり平成18年度、2006年4月1日から2007年3月31日までの第2期事業年度における決算報告および事業報告をいたします。

平成 19年5月21日

義煎信也



特定非営利活動法人アラヌエボ 理事長 義煎信也 印

監査報告書

私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成18年度、2006年4月1日から2007年3月31日までの第2期事業年度における特定非営利活動法人アラヌエボの業務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事実はなく、平成18年度の特定非営利活動法人アラヌエボの財産の状況は適正なものと認められます。

平成 19年 5月 21日

高橋英一



特定非営利活動法人アラヌエボ監事 高橋英一 印